



## 夏の学校林活動

8月25日(月)、標茶町立中茶安別小中学校の学校林「るるんフォレスト」で「夏の学校林活動」が行われ、当セクターも参加しました。今回は、「カラマツ林の観察」と「学校林の測量」の2グループに別れて活動を行っています。

「カラマツ林の観察」に参加したのは、小学1～4年生のグループ。「るるんフォレスト」には、「春の学校林活動」で植林したカラマツ林があります。



開会式（春に植えたカラマツの前で）

今年の伸長を測定、カラマツの生長の早さを実感、順調な生長をしています。  
しかし、なかには葉が赤くなり、枯れてしまったものがあります。なぜ枯れてしまったのでしょうか？  
枯れたカラマツを観察すると根元付近の樹皮に削られたような痕跡があります。ネズミがかじつたようです。  
植林した樹木に害を及ぼすエゾヤチネズミ、エゾキウサギ、併せて子ども達に人気のあるエゾリス、エゾシリスこれらの動物達の食べ物、冬のすし方を解説して、なぜ被害を受けるのか理解してもらいました。  
また、カラマツ林のなかには、ミズナラの

切り株があり、切り株からたくさんの芽が出ていました。(この芽のことを萌芽と呼びます)たくさんある萌芽を切って、本木を調整して成長させることで、切り株を木に再生させることができます。これが萌芽更新と呼ばれるもの。

成長が早く、短期間に細い木材をたくさん生産するのに適していることから、薪や木の原料材の生産を目的とする森林(薪炭林)で行われていました。

切り株を観察しながら、石油やガス等が燃料として普及するまで、標茶町は木炭の生産が盛んで、周辺の広葉樹林も、かつては薪炭林として利用されていたこと。種や苗木を植える方法とは違う、木の育て方の萌芽更新を学習しました。

「学校林の測量」に参加したのは、小学6年生と中学生のグループ。「るるんフォレスト」には、カラマツ等の人工林、ミズナラ等の広葉樹を主体とした天然林、水が湧き出ている池、ツリーハウス、タヌキの道などと動物名が付けられた歩道が数路線整備されています。

今回は、これらの林や歩道等の位置、形、大きさを生徒のみなさんが、分かりやすいように地図を作るための、測量に挑戦です。GPSを使えば、手軽に簡易な測量が出来るのですが、社会科の授業で、実測で日本地図を完成させた伊能忠敬を学習したということ、コンパス測量で行うことになりました。



測量①（操作を説明）



測量②（水平に調整）

コンパス測量は、磁北を基準とした方位角測定と水平距離を計算するための傾斜角測定、測点間の距離測定を測点ごとに繰り返して進めるものです。

コンパスで角度を測定する人、測点でポールを持つ人、巻尺で距離を測定する人、測定の役割を決めて測量開始。

三脚に固定したコンパスを水平に据え付け、望遠鏡でポールを捉え、方位角等を読み取る一連の作業を手際よく進めていきます。

今回は、予定していたカラマツ林の周囲と道路の測量を終了することができました。次回は、10月に秋の学校林活動を予定しています。



測量③（望遠鏡で確認）



閉会式（雨が降ってきました）

## 9月の予定

\* 9月14日(日)  
白糠町カミングパラダイス

\* 9月24日(水)  
第3回ドングリ倶楽部

\* 9月26日(金)  
茶路小中学校 木工工作

\*管内の自然情報の収集や情報提供を行っています。下記の情報ページを随時更新しておりますので是非ご覧下さい。

## 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h\_kusiro\_f@rinya.maff.go.jp

【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro\_fc/index.html



国民の森林・国有林

当センターは、国有林をフィールドとして、北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。